

登録コード	TSS09501	開講年度	2026					
授業科目	機械物理特別実験Ⅰ				担当教員	吉野 正人 他		
英文授業名	Advanced Laboratory Work in Mechanical Physics, 1				副担当	鈴木 康祐		
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	機械システム工学分野修士1年生
講義室			授業形態	実験	備考			
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ							
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				⇔	機械物理の基礎に関する文献調査と英語学術論文輪講の実施, および得られた情報に基づくプレゼンテーション・グループ討論を通じて, 幅広い見識と健全な倫理観を持って機械物理に関する研究を展開できるようになる.		
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				⇔	環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力を身につけることができる.		
(2)授業の概要	環境機械の応用に関する数値実験と実地実験を実施する。実施形態は集中講義形式にて実施し、前期集中60時間、後期集中60時間、の合計120時間の実験を実施する。							
(3)授業計画	第 1回（前期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：ガイダンス、数値実験応用実習・解説 第 2回（前期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理（熱工学）応用展開数値実験準備・予備実験 第 3回（前期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理（熱工学）応用展開数値実験本実験 第 4回（前期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理（流体工学）応用展開数値実験準備・予備実験 第 5回（前期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理（流体工学）応用展開数値実験本実験 第 6回（前期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：応用展開数値実験総括・グループ討論 第 7回（後期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：ガイダンス、実地実験応用実習・解説 第 8回（後期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理（熱工学）応用展開実地実験準備・予備実験 第 9回（後期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理（熱工学）応用展開実地実験本実験 第10回（後期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理（流体工学）応用展開実地実験準備・予備実験 第11回（後期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：機械物理（流体工学）応用展開実地実験本実験 第12回（後期集中10時間、1コマ2時間×1日5コマ）：応用展開実地実験総括・グループ討論 最終プレゼンテーション・討論							
(4)成績評価の方法	レポート50点、プレゼンテーション・討論50点、の合計点で評価する。90点以上を秀、80点以上90点未満を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可とする。							
(5)成績評価の基準								
(6)事前事後学習の内容								
(7)履修上の注意								
(8)質問,相談への対応	随時受け付ける。							
(9)その他								
【教科書】	適宜プリントを配布する。							
【参考書】	三島 浩「技術者・学生のためのテクニカルライティング 第2版」共立出版、2001							